

教科	国語	単元名	スピーチ
----	----	-----	------

本時のねらい

テーマの魅力を伝えられるようなスピーチの構成や発表のやり方をグループで考える。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

スピーチの内容を分かりやすく伝えるための資料作成とともに発表の様子を動画等に収め、学習活動の振り返りに生かす。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイノート・スクール

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいテーマにもとづいて、班員どうしでまとめた内容を分担し、その内容をまとめたものをロイノートのカードに下書きする。 まだできていないメンバーがいるときは、班内で話し合い、方向性を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始前にロイノートが使えるように準備をさせておく。 授業内でまとめ作業をする前に、事前に自分が調べた内容を、各自のタブレットPCを活用して調べさせておく。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 各自のタブレットPCで調べ学習とまとめ作業を開始する。【写真1】 全員のカードができたなら、カードをつなげ合わせて発表用スライドを作成する。 発表の順を決め、それぞれのスピーチ原稿の作成をする。【写真2】 スピーチのやり方を工夫しながら、発表の練習をする。(本番の発表は次時に行う。)【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> 各班の班員が個別に作成したものを一つにまとめて、相互に編集できる「共有ノート機能」を使う。 共有ノート内で、各自のカードを作成し、自分が調べた内容をまとめさせる。この際、班の他のメンバーの進捗状況や、まとめ内容を随時確認させながら、取り組ませる。 どうすれば自分たちの発表が、聞き手にうまく伝わるかを共有ノート内で、各自が作成したカードの順番を考えて組み合わせて練習する。(例：スピーチをしている姿を班内で動画撮影して振り返りを行うなど。)
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 各班の代表者が、まとめたカードをロイノート上で提出する。 担当のスライドのスピーチ原稿はプリントで提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイノートの提出箱にまとめたカードを提出させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：各自のタブレットPCで自分の分担ページを編集しなおしている様子



写真2：ロイノートの共有ノート機能を使って、班内の他のメンバーが作成したカードの組み合わせ順を考えている様子



写真3：本番のスピーチ発表のために、スピーチの練習しているところを班員が動画撮影している様子

児童生徒の反応や変容

・「共有ノート機能」を活用して、自分の分担にあたっているカード内容を積極的に作成していた。また、他の班の発表を聞いたり、作成されたカードを見たりして、もっと工夫すべき点を発見することができていた。

＜授業後の生徒の感想＞

- ・難しい語句の説明がもっと必要だった。カードの文字で強調すべきところにアンダーラインを付けたらよかった。
- ・スピーチ発表では、聞いている人にクイズを出すなどしてもっと問いかけたり、やりとりをしたりしながら発表するなどするとより伝わったのではないかなと思う。
- ・動画を見直すことで気づいたが、顔を上げて、内容を覚えてスピーチするのは慣れておらず難しかった。次はもっと内容をしっかり頭に入れて発表したい。
- ・カードに書きすぎず、ポイントだけを載せ、スピーチをしたほうが、伝わりやすかったと思う。
- ・インターネットで情報を調べたが、本で調べたほうが、内容も確かなものもあると感じた。次はインターネットと本を情報として上手に利用してみたい。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・個別で作成したカードを班でまとめる際に、ロイノートの共有ノート機能はとても便利だった。
- ・各自で調べてきた内容を共有して、自分のプリントにまとめて書く際、お互いのプリントを画像で撮影しあうなどの工夫が見られた。
- ・簡単にスライド資料を作成し共有できるので、スピーチの練習や発表内容の推敲などに多くの使う時間を使うことができた。
- ・班を越えて、プレゼン資料の作成のやり方について協力し合う姿が見られた。